

IEICE ICT PIONEERS WEBINAR シリーズ 【第 10 弾】

電波科学の 100 年と持続可能な発展への 取り組みの道すがら、想うこと

安藤 真

(東京工業大学名誉教授)

【開催日時】2021 年 4 月 27 日 (火) 13:30~15:00

講演内容：電波科学は、電子情報通信学会と同様約 100 年の歴史を持つ。一方、震災、異常気象、環境、感染症など近年の災害の連続は、15 年間を目途に設定された持続可能な開発へ向けてのアジェンダ (SDGs) が、緊急課題として社会に決断を迫ってきた感がある。世界、日本における SDGs の潮流の中で、電波科学、無線技術がどのような形で貢献して行くべきかを、40 年間のアンテナ伝搬の研究や学会活動などの体験と、身近な話題から考えたい。

永妻忠夫 副会長からの紹介文

安藤先生は、電波やアンテナの研究の世界的な権威であられ、これまでに IEEE アンテナ伝搬ソサイエティの会長や、国際電波科学連合 (URSI) の会長といった要職を務められています。安藤先生のご研究の一例と挙げますと、小惑星探査機「はやぶさ 2」に搭載されたアンテナの開発や、5G でミリ波が利用されるさきがけとなった、ミリ波帯アクセスネットワークの研究開発があります。加えて、我が国の電波行政や標準化に関してもリーダーシップを発揮され、今日の無線通信技術の発展に尽力されてきました。本講演では、電波科学、無線技術に関する先生のご研究の歩みと、特に SDGs への貢献という切り口から今後の展望についてお話いただきます。



【講師略歴】安藤 真 (名誉員)

1979 年東京工業大学大学院博士課程修了、同年日本電信電話公社横須賀電気通信研究所入所。1982 年東京工業大学助手、1985 年同学助教授、1995 年同学教授、2015 年同学理事・副学長、2018 年国立高等専門学校機構理事を経て、現在、同機構顧問。2009 年 IEEE アンテナ伝搬ソサイエティ会長、2018 年本会会長、現在、国際電波科学連合 (URSI) 会長、テラヘルツシステム応用推進協議会会長。2004 年電波産業会電波功績賞総務大臣表彰、2006 年情報化促進貢献総務大臣表彰、2015 年本会功績賞、2017 年 NHK 放送文化賞 2020 年「電波の日」総務大臣表彰等、受賞。